

広域ごみ処理施設の現況

■10月29日開催

【主な質疑応答】

高砂市に委託している広域ごみ処理施設建設事業について、平成30年10月9日に東播臨海広域ごみ処理連絡会議が開催され、二市二町の市長、町長出席のもと広域ごみ処理施設の報告・協議が行われた。

平成30年度広域ごみ処理事業として、前年度に引き続き既存施設の解体工事を実施し、新施設の杭打設工事に着手し、平成34年度の稼働に向けて建設工事を推進していく。

平成30年10月19日は、新施設建設に向けて安全祈願祭が開催された。

■10月29日開催（協議会）

農業共済事業の1県1組合化

平成32年4月を目標に、県内で共済事業を実施している17の市町と、東播磨農業共済事務組合を含む9つの組合の計26の公営団体を一つの組合組織に統合し、県全域を事業区域とする。

統合により、適切な掛金率の維持や、公平な補償を提供でき、大災害などでも安定的な事業運営が確保できる。

■11月19日開催

【主な質疑応答】

播磨ふれあいの家
現在の指定管理者の管理期間が、平成31年度末に満了する。当該施設の今後の運営について検討した結果、新たな指定管理者を募集せずに平成31年度末をもって運営を終了するとの結論に至った。

平成6年の開館当時から比べると、旅行形態の多様化・社会情勢などの変化により、公費を投入してまで宿泊施設を運営する必要性が低下している。また、施設の老朽化により改修工事が必要となり、今後の管理コストが上昇する。

平成31年度中の議会に、播磨ふれあいの家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例案を上程する予定である。

用地については借地であるが、返還するときにも取り壊さずに無償譲渡で引き渡す方法もあるが、どのように考えているのか。

この用地については、播磨ふれあいの家の用地として使用することを契約書に記載しており、更地にして土地の所有者に返還することを考えている。

■委員会調査

■11月19日開催（協議会）

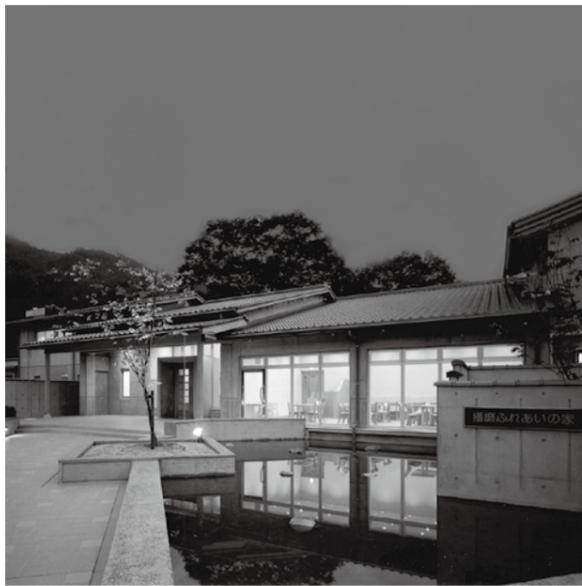
学校給食費の公会計化

学校給食費の公会計化について、課題の抽出や問題提起を行い、学校給食費の透明性向上や教職員職務の適正化を目指し、厚生教育常任委員会として、今年度中に学校給食費の公会計化に関する提言を取りまとめる。

播磨町奨学金条例の廃止

播磨町奨学金条例は、教育基本法の趣旨に従い、経済的理由により修学が困難な方に対し修学資金の一部を貸し付け、修学の便宜を与え、社会に貢献する有為な人材を育成する目的で制定されている。

しかしながら、国・県の支援が拡充されたことにより、今回平成31年度末をもって同条例を廃止する条例案を12月定例会に上程する予定である。奨学金制度に代わる制度として町独自の利子補給制度を検討しており、この制度の開始を平成32年度に予定している。



▲町民に利用されてきた播磨ふれあいの家

地域が連携する防災訓練！

今回は、南部コミュニティセンターにて、工夫を凝らした防災訓練を重ねる「南部コミセン地区自主防災組織連絡会」の皆さまにお話を伺いました。

「ご出席いただいたのは、連絡会会長の小林さん、学園北の中島さん、石ヶ池の中島さん、本荘東の王子さん、本荘西の四間さん、南部コミセン館長の細田さんです。」

「南部コミセン地区自主防災組織連絡会」を立ち上げた経緯は？

本荘北自治会で10年前から防災訓練を実施してきました。5年前に、各自治会合同での訓練を実施できるよう連絡会をつくろうと、危機管理グループと連携しながら、「南部コミセン地区自主防災組織連絡会」を立ち上げ、現在に至っています。11月10日には、5回目の訓練を実施しました。

連絡会の活動内容は？

連絡会は11自治会の代表で構成されており、年5回程度の定例会議を行っています。訓練では、簡易トイレ、リヤカーの組み立てや毛布と物干し竿を活用した即席担架の作り方などを学んでいます。

自治会で防災訓練に参加された人を防災協力者として名簿登録し、防災訓練の時にはリーダーとして活躍しています。



▲え！物干し竿と毛布で？

困っていることや苦労している点は？

自治会の役員任期が終わると、参加しなくなってしまう。参加者がいかに増やすかが課題となっています。

訓練の実施時期は気候的に秋がいいのですが、いろいろな行事と重なっ

てしまい、日程調整に苦労しています。

皆さんが今一番危険と感じる災害は？

南部コミセン区は海に面した地区で海抜も低いことから、南海トラフ地震による津波や大型台風接近に伴う高潮、集中豪雨などによる浸水被害です。

今後の方向は？

一人一人が防災意識を

強く持ち、防災器具の組み立てや操作方法について学んでほしい。いざという時に操作できる人を増やしていきたいと考えています。

●その他の意見
・町全体の総合防災訓練が必要であり、ぜひ行ってほしい。
・住民の防災意識を高める広報活動を積極的に進めてほしい。



▲防災について真剣に話し合う

インタビューにお答えいただいた皆さま、お忙しいところありがとうございます。議会としても、今回のお話を今後の参考とさせていただきます。